Shono Street

庄内農業高等学校　図書館だより

R4　No.7
10
2022.10.20

読書週間　はじめて物語

10月27日（木）～11月9日（水）は『読書週間』です。その第１回が始まったのは、終戦間もない1947年（昭和22）のこと。「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」と、出版社・取次会社・書店と公共図書館、新聞・放送のマスコミ機関も加わって11月17日から開催されました。翌年の第２回から今の期間に定められ、この運動は全国に拡がっていきました。

2005年（平成17）には、『読書週間』が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定されました。

電子メディアの発達する世の中で、新しい感覚での“本との付き合い方”を取り入れていく方法があってもいいかもしれません。

図書視聴覚委員会では、読書週間中に本を一冊以上借りた人にしおりのプレゼントや、ポスターも掲示予定です。どうぞお楽しみに！

「朝の読書」感想ピックアップ！

「朝の読書」の時間に皆さんが読んだ本の感想を少し紹介します。すでに読んだことのある本、これから読む本の感想などいろいろです。共感、新たな視点からの発見があるといいですね。

『運転者 未来を変える過去からの使者』　喜多川泰 著 努力とは自分のためでなく、周りの人、そして未来に生きる人のためにするものだと学びました。この本を読んで自分の世界が広がりました。（1年　女子）	**『生き物の死にざま』　稲垣栄洋 著** ふだん私が少し苦手だと感じる虫たちも生を全うするために同じように頑張って生きているのだと考えさせられた。改めて命の大切さを思った。（1年　女子）
『なぜ僕らは働くのか』　池上彰 監修 働くとは何かを知りたくて、この本を読みました。それは、お金を稼ぎ、自分を守ること、結婚をして家族を守ることでした。（1年　男子）	**『海辺のカフカ』　村上春樹 著** 私が一番心に残っているのは、猫と会話をして子猫を見つけようとする話です。たくさんの話がそれぞれ違う魅力があります。（2年　女子）
『ダンスでコミュニケーション！』　香瑠鼓 著 ダンスを通して絆がどんどん深まり、本番を前にチームが一丸となり迫力のあるダンスをすることが出来たのはとてもすごいことだと思った。（2年　女子）	**『生き方』　稲盛和夫 著** 強い願望を持つこと、昨日より今日、今日より明日と地道に進んでいくことが成功の秘訣なのだと学びました。（3年　女子）
『かがみの孤城』　辻村深月 著 つらい時でも周りをよく見れば、支えになってくれる人は誰かしらいるということを教えてくれる本でした。繰り返し読みたくなるような本でした。（3年　女子）	**『キキ&ララの「幸福論」』　朝日文庫編集部 編** 日々の出来事の捉え方が変わり、哲学者・アランの説いた実践的な考え方を知ったことで、人は誰でも幸せになれることを教えてくれた本でした。（3年　女子）

《 注意 》　「朝読書」の本は教室から持ち出さないでください。

New Books

☆は、リクエスト本。ほしい本があれば図書館まで

『“正しい”を疑え！』

不安と不信が蔓延する社会において私達はいったい何を拠り所にすればよいのか？　著者から自分を信じて自分らしく生きるためのヒントがもらえる一冊です。

真山仁
岩波書店

『津田梅子　女子教育を拓く』

日本の女子教育のパイオニアである津田梅子。彼女の足跡を、その内面や思索にも迫りつつ、最新の研究成果・豊富な資料をもとに解説している。

髙橋裕子
岩波書店

『「神話」の歩き方』

テーマは「神話を感じる旅」。豊かな物語や神々のダイナミックなキャラクターを楽しむことができる。神話学者とともに日本をより深く知る旅に出よう！

平藤喜久子
集英社

『クスノキの番人』

その木に祈れば、願いが叶うと言われているクスノキ。その番人を任された青年と、クスノキのもとへ祈念に訪れる人々の織りなす物語。

東野圭吾
実業之日本社

『予測不能ショートストーリーズ』

ミラクル中学校の部活動をテーマにして、どれも奇想天外なアイデアを盛り込んだストーリーが10編。一つが10分程度で読めるので朝読書におすすめです。

にかいどう青
講談社

『SHO-TIME　大谷翔平』

彼を知る人は「周りを明るくする笑いをもたらす人物」「人間味のある人物」と評する。野球を徹底的に楽しむために、魂で真剣に野球と向き合う大谷がいる。

J・フレッチャー
徳間書店

『夏休みの空欄探し』

本に挟まれた暗号。謎に挑む姉妹。絶対に仲良くなれないと思っていたアイツ。この暗号は、君への近道。すべての謎が明かされた時…。

似鳥鶏
ポプラ社

『あったこほうさ』

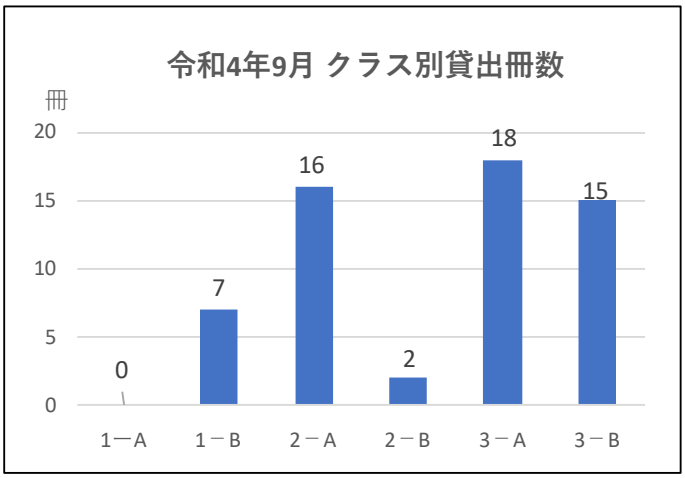
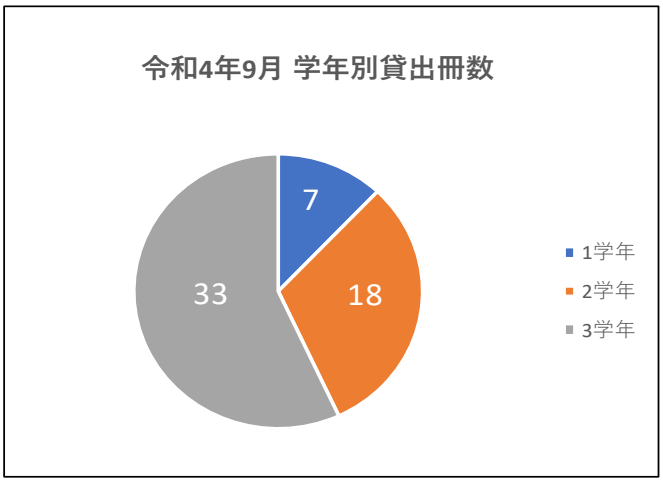
著者は酒田市出身。故郷への限りなき愛、歌への燃える情熱、日々の生活に幸せを見つけ、心が温かくなる珠玉のエッセイ集です。

白崎映美
ぱるす出版

『しあわせのマスカット』（DVD）

北海道から岡山への修学旅行がきっかけで、主人公の女子高生はマスカットをやさしく包んだ和菓子に恋をする。人を笑顔にする感動の奮闘ドラマです。

吉田秋生
BS-TBS

9月の図書貸出状況

9月の図書貸出総数は全校で79冊でした。内訳は、生徒への貸出数が58冊、教職員への貸出数が21冊です。